

募集班長の模型部屋(第20回)

皆さん、こんにちは。この間まで暑いなあ・・・と思ってたのに、もうデパートにはクリスマスツリーが飾られています。うすうすサンタの正体に気づいている娘達は、何をプレゼントに頼もうかと話し合ってます。負けじとお父さんもサンタに何のプラモをもらおうかと模型店で思案しています。「大人がサンタに頼むのはずるい!」「お父さんだってお仕事頑張っているんだから権利がある!」とお互い言い張ってます(笑)。まあどっちにしても懐が苦しくなるのは目に見えているのですが。さて今回は、「所長の模型部屋」時代に紹介させてもらったのですが、

96式装輪装甲車です。



同じ模型を紹介するわけではありません。前回の96式自動てき弾銃を搭載したA型ではなく、12.7ミリ重機関銃搭載型のB型です。この夏季休暇を利用して秋葉原にプラモの買出しに行った時に、モノクローム社から限定発売されていた「チェーン装着タイヤ」が封入された製品があったので速攻でゲットし、作り上げたものです。B型は北海道に配備されていないと説明書で書かれていましたが、そんなことはありません。いろいろとネットで画像検索してみてください。最近は増加装甲タイプが一部の部隊で配備されているようなので、自衛隊車両マニアとしては要チェックです。今回作成にあたっての着意事項は操縦手ハッチの閉鎖状態への改造、バックミラーの増加、チェーンを巻いた車輪に付着した泥の表現です。



96式装輪装甲車「WAPC」でもっとも有名なのは、戦いの神様毘沙門天の「毘」を書き込んだ第3普通科連隊の車両です。イラク人道復興支援活動で派遣されていたので思い出された方も多いと思います。



閉鎖状態のハッチです。キットには風防が付いていますが、戦闘行動時には装着せず、このようにハッチを閉めています。ハッチ周りの改造が必要となりますが、丁寧に可動部分をデザインカッターで切り出して組み上げれば難しくはありません。チャレンジしてください。



重機関銃ハッチの周りです・乗員は車内に泥が入らないようにハッチの周りで泥を落として乗車するのでハッチ周りは靴から蹴落とされた泥が付着していきます。日本人らしい驕です。もちろん、意味があります。ハッチ周りに泥が付着すると密閉状態が悪くなり、ガス攻撃等からの防護性能に影響が出ます。皆さんも車に乗るときには靴の泥を落としましょう。中も汚れますしね・・・



あと、後部乗員ハッチです。乗車前にこのように泥を落として乗車します。もちろんすべての泥が落ちるわけではないのですが。ストップランプ等の透明部品は、透明部品用接着剤を使用しました。バックに塗ったシルバーがきれいなままで装着できるので便利です。前照灯にも使用してます。



実際の車両には安全ミラーがこのように増加されて取り付けられています。WAVEの丸型透明部品のセットを利用しています。戦闘車両は死角が多いので安全管理を重視しています。皆さんも動いている戦闘車両にはうかつに近寄らないでくださいね。あんまりそんな機会もないと思いますが・・・





チェーン装着タイヤです。チェーンは雪上を装甲するとき使用するものと思われがちですが、自衛隊ではオールシーズンで使用します。泥濘地を走行するときに、タイヤのトレッドの中に泥が詰まりスリックタイヤのようになってしまうので、チェーンをこのように装着します。WAPCに限らず、小型トラックや大型トラックも同様の処置を施して走行します。



遠慮なく車体下部もタイヤハウス内もドロドロにしてみました。うわっ！きたねえ・・・



重機関銃はクイックバレルタイプがキット化されてます。銃身をねじ込んで装着するのではなく、本体に銃身を差し込んで90度だったかな？回転させると装着できる優れものです。いつものようにフラットブラックで塗った上に鉛筆の芯をこすり付けてます。



全体的にウェザリングスティックを適度に塗って湿らせた綿棒で根気良く上から下にふき取り、雨で流れ落ちたように表現しました。下に行くにしたがって泥がたまった表現を出してみました。・・・どうでしょうか？

第3普通科連隊は北海道名寄駐屯地に所属し、私が第7偵察隊偵察隊勤務の頃、この部隊の情報小隊（偵察小隊）の訓練補助官（行動の良し悪しを判定する審判みたいなもの）として一緒に行動した事があります。勇敢な行動をする部隊で、夜間は部隊に付いて行くのがやっとでした。どこの部隊も任務遂行の為に頑張っているんですね。

さて、次回は・・・**ゼロ戦**を予定しています。製作途中の状況は新潟地本非公式ツイッター「募集班長の模型部屋」をご覧ください。ほぼ毎週、何か作ってます。

先日、宮城地方協力本部のツイッターで紹介されたら、たった半日でフォロワーが100以上増えてしまいました。びっくり。宮城地本のツイッターすげえ。ではまたお付き合いください。